

ガザ住民大量虐殺を止めさせるため

イスラエルボイコットを

イスラエル
バラク國相。オルメ
ルト幕。リブニ翁を
国際戦犯法廷に！



「自衛」というデマ

ガザで何が起こっているの



か？アブデルワーヘド教授の
日記から垣間見える空爆の実
態を観てみる。

12月29日（空爆3日目）の

日記によると、「ガザ市内だ

「イスラエルのヘリや飛行機が今も頭上を飛びかっている。これが私たちにとっての新年のスタート、これが私たちの『ハッピー・ニューイヤー』。これが恥知らずのツツシユ政権と民主主義が私たちに送るラスト・メッセージなのだ！」

ガザのアブデルワーヘド氏（アル・アズハル大学教授）の日記（12月30日）の一

部だ。同氏は電気も水も途絶えた中で、

発電機で電力を維持しながら、WEBでガ

ザの様子を世界に向けて発信している。

12月27日、イスラエル軍は、ガザ地区

に大規模な空爆を開始。09年1月3日に

は、数百台の戦車・ブルドーザー部隊と

1万人とも伝えられる兵士をもつて地上侵

攻へ突入した。

「自衛」の名の下、非戦闘員、民間人に対する

大量虐殺が行われている。重慶・グル

カ・ドレスデン・東京大空襲と同じことが今

起きている。

「イスラエルは、敵と戦争していると言う

が、実際にしていることは、閉じ込めた人々

の大量虐殺だ」こう語るのは、アリー・ア

ブニーマーハ氏（エレクトロニックインディ

ニアード共同設立者・米国在住）だ。

新年号は「我々はどんな社会を求めるの

か？」もうひとつは「世界を構想する」との特

集を予定していたが、急遽変更して、ガザへ

の侵攻と、年末始にわたる日本各地の越冬

闘争の模様をお知らせする。

（編集部）

（2面に続く）

一見平凡な人間の日常生活は、複雑に入り組んださまざまな要素の巧妙で精緻な組み合いで動いている。瞬時の判断、間合い、予測。人生はその訓練に始まり、その自覚と共に終わる▼精神科臨床医の中井久夫が語る統合失調症患者との対話に、これまで多くのことを教えてきた。最新のエッセイ集「日時計の影」にも患者と向き合う医師の深い洞察があふれていて、人間社会への普遍を考えさせられる▼「薬はまず“飲み心地”を重要視します。『飲み心地を教えてくれ』というのが毎回の面接です。私は“眠り心地”とか“飲み心地”とかあるいは“食べ心地”という“心地”を聞きます。(中略) 食べ物の味がわかるのは心のゆとりの生じた証拠の1つです」▼システムに目がゆきすぎると、その中で生活する人間を見失う。システムをつくりあげてきたのも人間。変えるのも人間にしかできない▼現代社会システムの激動はそのテンポを速めているようだ。人間もその中で変化を迫られている。どこで跳ぶのか。何を信じて跳ぶのか▼今年も又、監獄で新年を迎える多くの同志たちと共に、新しい歴史の胎動を喜びたい。(M)

農村に雇用はないのか?有機農業で何か、雇用は作れないか?遊休地の開墾で雇用を!?最近、いろんな人からこんなことを言われている。都市の側から失業に対応する受け皿として、農村が注目されている。資本主義は不況になると雇用の受け皿として農村を機能させてきた▼確かに“農の再生を核とした地域づくり”的なことで、“仕事づくり”ができる、という局面である。ここでは、地域を抵抗拠点として世界金融システムを相対化し、お金中心の価値観を転換する仕事のあり方が求められる。とりあえずの稼ぎを作れというのとは話が違う▼最近、アフリカ帰りの人が言った「日本人はみんな不安そうだけど、アフリカでは金融不安なんてないよ、大事なものを守ってるから」。それは食べ物を中心とした助け合いの共同体。日本が高度経済成長で失ったものだ▼農業の在り方を問い合わせなかで、1万年の歴史を刻んできた農業文明を農的文明へと転換することが必要である。農的な工業、農的な商業を統合しうる農的文明へのパラダイムの転換を準備することが、21世紀半ばに予測される食糧飢餓と戦乱を回避し、人類と農業の持続可能性の展望を開くことになる。(I)



団塊の世代が定年期を迎えたためか、関連する本やイベントがたくさん出ている。私もその世代で東京にいたため、いろんな歴史的な場に参加できた。▼派遣で働き、不当な扱いに怒りをためながら、秋葉原事件のように、関係ない人への暴力でしか表現できない若者の事件をみるとたびに、時代の違いを人ごとのように見ていた▼『団塊世代のく青い鳥』(池田知隆著・現代書館刊)によると、連續射殺魔といわれた「永山則夫」が同世代だったことを初めて知った。全共闘にも反戦青年委員会にもつながらず、「無知の涙」を流し死刑になった彼と、秋葉原事件の加藤被告は共通するものがある。▼私は運良く社会運動に出会えて、右翼から左翼になり、今も自分の思想に迷いはない。だけど永山則夫や加藤被告は、そういう出会いがなかったから「個人テロ」を行しかなかった。社会運動家は、彼らとつながれなかったことを反省すべきなのに、「今の若い者は…」と高所から批判する人がいる▼幸いなことに、非正規雇用の若者が立ち上がりはじめた。高齢者も若者批判を止めて、声援を送ろう。人民新聞がその場を提供することを嬉しく思い、もっと広めねばと思う。(A)

People's News

2009年1月5日

通卷1333号

1968年12月12日第三種郵便物認可 5,1525日発行

新人聞民

発行所 人民新聞社

1部 150円 購読料半年間 3,000円
本社 〒552-0023 大阪市港区港晴3-3-18 1F
TEL (06) 6572-9440 FAX (06) 6572-9441
Mailto:people@jimmin.com URL: http://www.jimmin.com 振替口座 00950-4-88555

The JIMMIN-SHIMBUN

3-3-18 1F Kousei, Minato-ku, Osaka, Japan.
TEL 06-6572-9440, FAX 06-6572-9441
E-mail people@jimmin.com
Subscription: One year 6,000 yen
(include air mail postage)

HEADLINE

[2面] ガザ大量虐殺は、イラク空爆を視野に入れたイスラエルの大博打——足立正生

[4面] ガザが崩壊すれば、次はヨルダン西岸の崩壊だ——サラ・ロイ

[5面] 「変化が来る」というだけではダメだ。変化は起こさなければならぬ——アリー・アブニーマーハ

[6面] 日比谷公園派遣村レポート／大阪・扇町——協同の野営テント

[7面] 大阪・釜ヶ崎一臨時宿泊所に殺到／福岡・蟹光線祭「本物の強さへと至る何かを探して」

[8面] いわせて・聞いて／読者の年賀状

いま「100年に一度の経済恐慌」だと騒いでみても、歴史は犠牲者の側から真実を語り続けなければ伝わらない。戦後の混乱を体験した70代の我々の世代もついに少数派になってしまった。いかに貧しさや失業の苦しさを語っても「それは昔の話や」と若い世代には伝わらない。それでも語り続ける責任があるのだ▼10年経てば「もはや戦後ではない」とかつて政府は言った。それから30年、日本は高度経済成長を走り続けた。それはアメリカの朝鮮戦争やベトナム戦争の「恩恵」にあやかってのことであった。そのツケが今になって回ってきたのだ▼アメリカが蓄積した世界最大の富は、第2次世界大戦の戦勝国「略奪」に等しい。それを軍事大国の世界支配で使い果たした。ベトナム戦争で敗退し、それに懲りずイラク戦争で自壊した。もう一方の戦勝国ソ連だって冷戦で軍事大国化して崩壊した。平和憲法で非戦の日本だって世界第2の「軍事費大国」となり国家財政は破綻している▼世界王者のアメリカに追随した日本も、資本主義の後追いをするロシアや中国もそうだが、これら20世紀の「失敗」のツケは、21世紀の責任において背負い続けなければならない。(F)

ବୁଦ୍ଧିମତ୍ତା କରିବାର ପାଇଁ

ガザ住民虐殺は、レバノン侵攻も視野に入れた大賭博

昨年12月27日 イスラエルは再び3度、パレスチナ・ガザ地区への本格的な軍事攻撃を空爆から開始した。元々ガザ地区は、「テロリスト集団・ハマスの武器密輸を阻止する」という口実で一切の交通路を遮断され、一昨年から

繰り返される



繰り返される
住民虐殺

昨年12月27日、イスラエルは再び3度、パレスチナ・ガザ地区への本格的な軍事攻撃を空爆から開始した。元々ガザ地区は、「テロリスト集団・ハマスの武器密輸を阻止する」という口実で一切の交戦路を遮断され、一昨年から

こうしたなか、12月に入つてハマス側が「停戦破棄」を宣言して国境地帯へのロケット弾攻撃を再開。イスラエル軍はいつも使う「テロリスト集団から自國住民を守る」という口実でガザ地区北部を中心に戦闘を開始したのである。

飲食料、医薬品を含む生活必需物資の全てが底をついていた。(4面に連記事)

は発表されている3倍近くに達する見込みだと言う。

一方的な周辺国への侵略攻撃を繰り返してきた。だが、何故ここまで、「攻撃の即時中止」を叫ぶ国際的な批判も無視してまで、徹底的な虐殺行為を拡大して止めないのか。それはまさに国家存立をかけた最後の大博打に走っているとしか言えない。

1週間のパレスチナ側の被害は、医療機関に運び込まれた確認できる範囲で死者数500、負傷者数2000に達し、社会基盤の破碎はハマス政権の全建造物から学校、病院、諸施設などにまで及ぶ。イスラエル側の情報統制で、外国特派員は一切近づけず、情報はパレスチナ人による通信のみだ。それによると、猛攻撃の為に瓦礫から外へ1歩も出ることができず、正確に統計把握するのは困難な状態

国連難民救済機関は「人道の危機状態」を訴えるが、イスラエルの次期首相を狙つているリブニ外相は、「人道的な危機などない。何故なら人道支援は許可している」との虚言を繰り返し、6日になつてツジツマ合わせに一部の物資の搬入を認めただけだ。遂に死者数は子供160人を含んだ600人を超え、負傷者は3000人に至つた。

る40個のトンネル、(11)ビーチ難民キャンプの警察署など。繰り返すが、1晩の空爆の被害だ。この他にも各地で空爆を受け、多数の死傷者を出している。

放送局も攻撃目標となつてゐる。12月28には、F16戦闘機がアルリアクサ衛星放送局を攻撃した。「同局は粉々になり、周囲のビルも多くが居住不可能になつてしまつた」(アブデル教授)という攻撃目標は、ハマス軍事施設などではない。ガザの社会資源全てであり、いわば「パレスチナ人全体への攻撃だ」(ムスタファ・バルクーティー氏・ラマら在住・独立系議員)

イスラエル軍による地上戦は、ガザ地区の数カ所で開始された。同軍は、ガザ市の南と東から侵入し、ガザ地区を南北に分断した。このためガザ市には南からの物資は入ってこなくなった。「避難することもできなくなるのでとても心配しています」とガザ市に住むNGO職員のアムヤツドさんは、現地の様子を伝えている。海からの砲撃も続いている、ガザ市は完全に包囲された状態のようだ。イスラエル軍は家を出て避難しるというビラを撒いてい

ハマスは選挙を 経た合法政権

「ハマスは、民主的に選ばれた政府だ。この政府に政権担当能力を証明する機会をなぜ世界は与えないのか？」こう語るのは、フィーダ・キシュタ氏（ジャーナリスト、国際連帯運動ガザ地区世話人）だ。

2年前の選挙でハマスが経たハマスを軍事攻撃するイ

こうした高潔な信条と国際法をもちだしてこれらの軍事行動を正当化するなら、米国や欧州は、イスラエルに懲罰を与えて初めて道徳的普遍性をもちうる。民主的選挙を

ルトヘイト闘争にならつたボイコットを強化するように呼びかけている。(5面参照)

や大学の空爆と同じくらい殺傷能力のある命令だ。バラク国防相・オルメルト首相・リブニ外相を国際戦犯法廷に訴追すべきである。

トウデイ
（有）堀江現代経営
堀江英世
〒756-0806
山口県山陽小野田市中川二一三一
（前）堀江現代経営トウデイ事務局
電話（〇八三六）八三一三一八六
FAX（〇八三六）八三一一二四〇八
E-mail piano@p.d06.enjoyme.jp

(有)よつ葉ホームデリバリー京阪
代表取締役 横井 隆之

一矢の会

共立法律事務所

松本健男

大阪市北区西天満五丁目九番一一号
電 話(〇六)六三六五一九四五

龜岡市議会員

しのはら 咲子

「変化が来る」と言うだけではダメだ 変化は起こさなければならない

アリー・アブニマハ

エレクトロニックインティファーダの共同創設者。米国在住。

PLの勢力をPLの傘下に結束させようとしている。この民族再統一への動きは「侵略に對して結束し、侵略に対しても闘い、ガザ回廊をイスラエルの破壊計画から守り、パレスチナ人全員に關係するガザの虐殺と犯罪を止めよう」というキャンペーンとなつた。PLの執行委員会でアッバス議長は、「ガザではPLの全

ジュネーブ条約やニュルンベルグ条約など20世紀に締結された戦争法規をことごとく破つても、イスラエルは平気だ。米国政府がどんな政権の下でも全面支持を与えると知つてゐるからだ。

オバマは、1月20日の政権交代まで何もせずにいてはいけない。暦をめくるだけでは何も変わらない。

米国の議員達は民主党も共和党もイスラエルに喝采を送つてゐる。下院外交委員会のバーマン委員長(民主党)は「イスラエルを全面支持する」という恥ずべき声明を出した。抗議すべきだ。リベラルな反戦議員とされるペロシ下院議長も、この戦争犯罪を全面支持している。

アラブ諸国も弱腰で、ただのアリバイ作りだ。状況を変えるものではない。國連の声明も弱腰だ。アラブ諸国も共犯関係だ。

PLの勢力をPLの傘下に結束させようとしている。この民族再統一への動きは「侵略に對して結束し、侵略に対しても闘い、ガザ回廊をイスラエルの破壊計画から守り、パレスチナ人全員に關係するガザの虐殺と犯罪を止めよう」というキャンペー

ンは、「我々は、ガザを殺戮する」アッバス議長は言つた。

PLの勢力をPLの傘下に結束させようとしている。この民族再統一への動きは「侵略に對して結束し、侵略に対しても闘い、ガザ回廊をイスラエルの破壊計画から守り、パレスチナ人全員に關係するガザの虐殺と犯罪を止めよう」というキャンペー

ンは、「我々は、ガザを殺戮する」アッバス議長は言つた。

PLの勢力をPLの傘下に結束させようとしている。この民族再統一への動きは「侵略に對して結束し、侵略に対しても闘い、ガザ回廊をイスラエルの破壊計画から守り、パレスチナ人全員に關係するガザの虐殺と犯罪を止めよう」というキャンペー

ンは、「我々は、ガザを殺戮する」アッバス議長は言つた。

ラマラでPLの執行委員会

民族統一とイスラエルとの交渉中止を表明

パレスチナ・ニュース・ネットワーク (1/4)

PLの執行委員会はラマラで会合を開き、小異を捨てて大同につくように各党派に呼びかけた。「殺戮と侵略を前にして、内部分裂している余裕はない」とアッバス議長は言つた。

PLはすべてのパレスチナの勢力をPLの傘下に結束させようとしている。この民族再統一への動きは「侵略に對して結束し、侵略に対しても闘い、ガザ回廊をイスラエルの破壊計画から守り、パレスチナ人全員に關係するガザの虐殺と犯罪を止めよう」というキャンペーんとなつた。PLの執行委員会でアッバス議長は、「ガザではPLの全

イスラエルとの交渉役アハメド・クレイアは、「侵略が続き、ガザで血が流れている限り、交渉を続けるわけにはいかない」と、以前出した聲明を繰り返した。

今日のPLの執行委員会はハマスとイスラム聖戦にも招待が出され、会合の名称も「侵略に対する團結」であつた。ハマス政府とパレスチナ自治政府との争いは現実には

終わったわけではないが、多数の死者を悼む民衆を前にして、少なくとも言葉のうえでは「統一」を掲げるようになり、幾分和らぐことが期待される。

中東

「ガザへの侵略をやめる！」
世界各地の抗議行動

欧州

在英イスラエル大使館前では4日

夜 5000人がガザ侵攻に抗議、イスラエル国旗を燃やしたり、花火を打ち上げるなどして警備の警官隊とにらみ合つた。侵

攻前の同日昼には6万人(主催者推定)がロンドン市内をデモ行進。英首相官邸周辺の道路ではブッシュ米大統領に靴を投げたイラク人記者をまねて1000足の靴が投げつけられた。

レバノンの首都ベイルートでは、空爆

行つて、4日、パレスチナやレバノンの旗が振られる中、パレスチナ強硬派ハマスのレバノン代表が「われわれは降伏しない。侵略が終わつた時、勝利はわれわれのものだ」と演説すると、群衆が「イスラエルに死を」と応じた。

シリアの首都ダマスカスでも約5千人が「ガザ侵略はアラブ諸国全体への侵略」などを書かれた横断幕を掲げてデモ行進、参加者らがイスラエルや米国の旗を焼き捨てた。

28日、ロンドン(London)のイスラエル大使館前では、抗議デモが暴徒化して大使館の防護柵を破壊し、英警察の機動隊が出動して10人を拘束する事態となつた。

デンマーク・コペンハーゲン(Copenhagen)でも、警察発表で約700人、主催者側発表で約2000人が参加して抗議デモが行われた。

パリ(Paris)ではシャンゼリゼ(Champs Elysees)通りに約200人が集まつたほか、北アフリカ出身者が集まるバルベス(Barbes)地区では1300人が反イスラエルの抗議集会を行つた。

スペイン・マドリード(Madrid)のイスラエル大使館前では、「イスラエルはテロリスト」や「国家テロリストを止めろ」「パレスチナ人のホロコーストにノーコメント」を止めろと書かれたプラカードを掲げた数百人が抗議活動を行つた。

パリでは2万1000人がデモ行進に参加。ベルリン、

ローマ、アテネなど欧州各地で抗議活動が繰り広げられた。

イスラエルのバラク国防相やオルメルト首相やリブニア外相を国際戦犯法的に引き出し、ガザに住む一般市民の殺戮を指令した責任を問うべきだ。

イスラエルの巴拉克国防相

日本

アムネスティ・インターナショナル

日本など12団体が呼びかけた抗議行動

が、30日に千代田区のイスラエル大使館前であり、市民ら約300人が参加した。

大阪でも、12月28日、大阪神戸領事館前での緊急抗議集会に続き、1月4日から連日のように同所で抗議集会が行われている。10日には、中之島公園女神像前で集会が行われている。

アラブ諸国も共犯関係だ。

謹賀新年 今年も共に頑張りましょう！

印刷全般 企画・制作

(有)双葉堂

兵庫県尼崎市東園町五丁目一一八一
電話(06)4960-6431
FAX(06)4960-6432

(有)広島生き生き農産

加藤憲章

広島県福山市柳津町四一七一三三
電話(084)930-1454
FAX(084)930-14547

政治を市民の手に取り戻そう！

豊中市議会議員

木村真

大阪府豊中市岡上の町二一五二八一
電話(06)6846-8358
FAX(06)6846-8358
E-mail k-makoto@wave.pia.jp

津田道夫

大和の縄文人

<http://www.miyazakimanaabu.com>

大阪・金ヶ崎

臨時宿泊所に殺到

大失業期の金ヶ崎 多難な年明けを迎える

大阪府・市が越年対策として、住居のない労働者に提供している大阪南港の臨時宿泊所には、昨年より114人多い、1324名の労働者が入所した。

「第39回金ヶ崎越冬闘争実行委員会」や「失業と野宿を考える実行委員会」などが、入所者を対象に実施した聞き取り調査によると（協力者数20代、30代はともに4名ずつだった。初めて臨泊を利用するという労働者は39%（133名）だった。最近寝ていた場所については（複数回答あり）、金ヶ崎のシエルターを利用していた労働者が最も多く56%



（①大阪臨海部のへき地に設置された臨時宿泊所。まさに隔離収容施設だ。②臨泊への入所を受け付ける市立更正相談所には長蛇の列ができた）

339名）、回答者の年代は30代が40%（135名）、60代が39%（131名）と多く、20代、30代はともに4名ずつだった。初めて臨泊を利用するという労働者は39%（133名）だった。

最近寝ていた場所については（複数回答あり）、金ヶ崎のシエルターを利用していた労働者が最も多く56%（220名）、テントや小屋が持たずに野宿していた労働者が19%（74名）、他にドヤや施設が続き、安定した居住を持たない労働者が多数を占めた。

10月から12月の3カ月間

53%（180名）、うちゼロ円か「ほとんどなし」だった

減少が住居の喪失に直結し、

セーフティネットが機能して

いないうことがうかがえた。

聞き取り調査では「仕事がほしい」の声が相次いだ。「解体の仕事をしているが、全

て、南港の世話になることは

なかつた。センターまわりで

野宿している」（40代）。

「名古屋で12月3日に派遣

切りにあった」（40代）一日雇い建設の仕事ではなく、いわゆる派遣切りの労働者な

ど、金ヶ崎外からの流入も

あつた。「今年6月で契約社員の契約が切れ、家賃が払えず野宿になつた」（50代）。

「仕事がなくて困つている。以前はアルミサッシの組立・配

送をしていた。金に来たのは

いかにもふーたんぬるかー、ち思つて今まで聞きよりました」と開口一発粉碎されてしまつた。「ふーたんぬるい」という塗り込める言葉を許さない強さがあり、しばしば自らの労働や生活の現実に対する諦念にも似た感情と、すれすれのところに漂うように思われる彼の語りには、本物の強さへと至る何かが込められていると僕は思った。

「カニとタコ」というテーマ設定は当然にも思いつきの域

を出ないものではあるが、僕たちの言論や運動が「党的」なものに囚われることの危険性と、路上において剥き出しの国家権力による弾圧が僕たちの運動に加えられる危険性が、僕

たちの前にせめぎ上がつてゐることは現実である。そのよう

な現実の危険を越えて足を踏み出せ、と言うのは簡単でも、実際に人を動かすことは簡単ではない。どんなとき、僕らの言葉と行為が人を動かすのだろうか。集会で交わされた取り

いことこのである。それに対して大澤さんは、やはり倫理

論議を重ねている僕らに對して、「ヌルい」という一言でそ

れを切つて捨てられるあなたの感性こそがヌルい」。

ともすればその場にいた僕らは往年の活動家である彼女の

言葉を重ねておられたこの言葉は、大澤さんは次のように

対する慨嘆とともに吐かれた。これだけ各場所で実践もしながら、

4年。去年までは仕事があつ

て、南港の世話になることは

なかつた。センターまわりで

野宿している」（40代）。

「名古屋で12月3日に派遣

切りにあった」（40代）一日雇い建設の仕事ではなく、いわゆる派遣切りの労働者な

ど、金ヶ崎外からの流入も

あつた。「今年6月で契約社員の契約が切れ、家賃が払えず野宿になつた」（50代）。

「仕事がなくて困つている。以前はアルミサッシの組立・配

送をしていた。金に来たのは

いかにもふーたんぬるかー、ち思つて今まで聞きよりました」と開口一発粉碎されてしまつた。「ふーたんぬるい」という塗り込める言葉を許さない強さがあり、しばしば自らの労働や生活の現実に対する諦念にも似た感情と、すれすれのところに漂うように思われる彼の語りには、本物の強さへと至る何かが込められていると僕は思った。

「カニとタコ」というテーマ設定は当然にも思いつきの域

を出ないものではあるが、僕たちの言論や運動が「党的」なものに囚われることの危険性と、路上において剥き出しの国

家権力による弾圧が僕たちの運動に加えられる危険性が、僕

たちの前にせめぎ上がつてゐることは現実である。そのよう

な現実の危険を越えて足を踏み出せ、と言うのは簡単でも、実際に人を動かすことは簡単ではない。どんなとき、僕らの言葉と行為が人を動かすのだろうか。集会で交わされた取り

いことこのである。それに対して大澤さんは、やはり倫理

論議を重ねている僕らに對して、「ヌルい」という一言でそ

れを切つて捨てられるあなたの感性こそがヌルい」。

ともすればその場にいた僕らは往年の活動家である彼女の

言葉を重ねておられたこの言葉は、大澤さんは次のように

対する慨嘆とともに吐かれた。これだけ各場所で実践もしながら、

4年。去年までは仕事があつ

て、南港の世話になることは

なかつた。センターまわりで

野宿している」（40代）。

「名古屋で12月3日に派遣

切りにあった」（40代）一日雇い建設の仕事ではなく、いわゆる派遣切りの労働者な

ど、金ヶ崎外からの流入も

あつた。「今年6月で契約社員の契約が切れ、家賃が払えず野宿になつた」（50代）。

「仕事がなくて困つている。以前はアルミサッシの組立・配

送をしていた。金に来たのは

いかにもふーたんぬるかー、ち思つて今まで聞きよりました」と開口一発粉碎されてしまつた。「ふーたんぬるい」という塗り込める言葉を許さない強さがあり、しばしば自らの労働や生活の現実に対する諦念にも似た感情と、すれすれのところに漂うように思われる彼の語りには、本物の強さへと至る何かが込められていると僕は思った。

「カニとタコ」というテーマ設定は当然にも思いつきの域

を出ないものではあるが、僕たちの言論や運動が「党的」なものに囚われることの危険性と、路上において剥き出しの国

家権力による弾圧が僕たちの運動に加えられる危険性が、僕

たちの前にせめぎ上がつてゐることは現実である。そのよう

な現実の危険を越えて足を踏み出せ、と言うのは簡単でも、実際に人を動かすことは簡単ではない。どんなとき、僕らの言葉と行為が人を動かすのだろうか。集会で交わされた取り

いことこのである。それに対して大澤さんは、やはり倫理

論議を重ねている僕らに對して、「ヌルい」という一言でそ

れを切つて捨てられるあなたの感性こそがヌルい」。

ともすればその場にいた僕らは往年の活動家である彼女の

言葉を重ねておられたこの言葉は、大澤さんは次のように

対する慨嘆とともに吐かれた。これだけ各場所で実践もしながら、

4年。去年までは仕事があつ

て、南港の世話になることは

なかつた。センターまわりで

野宿している」（40代）。

「名古屋で12月3日に派遣

切りにあった」（40代）一日雇い建設の仕事ではなく、いわゆる派遣切りの労働者な

ど、金ヶ崎外からの流入も

あつた。「今年6月で契約社員の契約が切れ、家賃が払えず野宿になつた」（50代）。

「仕事がなくて困つている。以前はアルミサッシの組立・配

送をしていた。金に来たのは

いかにもふーたんぬるかー、ち思つて今まで聞きよりました」と開口一発粉碎されてしまつた。「ふーたんぬるい」という塗り込める言葉を許さない強さがあり、しばしば自らの労働や生活の現実に対する諦念にも似た感情と、すれすれのところに漂うように思われる彼の語りには、本物の強さへと至る何かが込められていると僕は思った。

「カニとタコ」というテーマ設定は当然にも思いつきの域

を出ないものではあるが、僕たちの言論や運動が「党的」なものに囚われることの危険性と、路上において剥き出しの国

家権力による弾圧が僕たちの運動に加えられる危険性が、僕

たちの前にせめぎ上がつてゐることは現実である。そのよう

な現実の危険を越えて足を踏み出せ、と言うのは簡単でも、実際に人を動かすことは簡単ではない。どんなとき、僕らの言葉と行為が人を動かすのだろうか。集会で交わされた取り

いことこのである。それに対して大澤さんは、やはり倫理

論議を重ねている僕らに對して、「ヌルい」という一言でそ

れを切つて捨てられるあなたの感性こそがヌルい」。

ともすればその場にいた僕らは往年の活動家である彼女の

言葉を重ねておられたこの言葉は、大澤さんは次のように

対する慨嘆とともに吐かれた。これだけ各場所で実践もしながら、

4年。去年までは仕事があつ

て、南港の世話になることは

なかつた。センターまわりで

野宿している」（40代）。

「名古屋で12月3日に派遣

切りにあった」（40代）一日雇い建設の仕事ではなく、いわゆる派遣切りの労働者な

ど、金ヶ崎外からの流入も

あつた。「今年6月で契約社員の契約が切れ、家賃が払えず野宿になつた」（50代）。

「仕事がなくて困つている。以前はアルミサッシの組立・配

送をしていた。金に来たのは

いかにもふーたんぬるかー、ち思つて今まで聞きよりました」と開口一発粉碎されてしまつた。「ふーたんぬるい」という塗り込める言葉を許さない強さがあり、しばしば自らの労働や生活の現実に対する諦念にも似た感情と、すれすれのところに漂うように思われる彼の語りには、本物の強さへと至る何かが込められていると僕は思った。

「カニとタコ」というテーマ設定は当然にも思いつきの域

を出ないものではあるが、僕たちの言論や運動が「党的」なものに囚われることの危険性と、路上において剥き出しの国

家権力による弾圧が僕たちの運動に加えられる危険性が、僕

たちの前にせめぎ上がつてゐることは現実である。そのよう

な現実の危険を越えて足を踏み出せ、と言うのは簡単でも、実際に人を動かすことは簡単ではない。どんなとき、僕らの言葉と行為が人を動かすのだろうか。集会で交わされた取り

いことこのである。それに対して大澤さんは、やはり倫理

論議を重ねている僕らに對して、「ヌルい」という一言でそ

れを切つて捨てられるあなたの感性こそがヌルい」。

ともすればその場にいた僕らは往年の活動家である彼女の

言葉を重ねておられたこの言葉は、大澤さんは次のように

対する慨嘆とともに吐かれた。これだけ各場所で実践もしながら、

4年。去年までは仕事があつ

て、南港の世話になることは

なかつた。センターまわりで

野宿している」（40代）。

「名古屋で12月3日に派遣

切りにあった」（40代）一日雇い建設の仕事ではなく、いわゆる派遣切りの労働者な

ど、金ヶ崎外からの流入も</

**対抗対案戦略の構築
と王体形成の想像力を**

●埼玉・樋口篤三



ローマ帝国と並ぶ米帝国の大崩壊。日本は明治維新→惨敗→大改革→いまの歴史的再編成が複合し、百年に一度の大危機に。

GMの危機、トヨタの大赤字→大失業の始まり→自民党分裂は時間の問題ですが、一方反権力、反資本陣営の奈落の底とウラオモテ。

われら何をすべきか。対抗対案戦略の構築と、新たな主体形成の創造力が問われます。

30年来念願のアジア・インターショナルの沖縄集会にも参加して、アジア労働者の闘いと共に「琉球の非武の伝統」と思想」を学び、北のアイヌ民族と共にヤマト・日本の歴史を再認識中です。

身体は斜陽化に、精神は昇る赤い太陽に。

今年も精魂かけて歩み、闘います。

大阪の知事に対し、その重要性を積極的に発信し、人々に生きる活力となるものを感じていただけるよう活動しています。

また、シネ・ピピアは今年10月末で10周年を迎えます。これも皆様のご支援・ご協力によります。

昨年は、新自由主義路線の破綻が露呈され、時代の流れが転換したことを誰もが体感しました。まさに「激動」と「変化」の年でした。

また、私も協同センター! 労働情報も、石田精一共同代表の急死といふ「激動」のなか、いかにも「変化」のうなりを民衆の手により一つにします。

私は、この1年が変化を結実させる第一步の年となるよう努めてまいります。

**生きる活力となる
映画・文化を**

●大阪・シネマ・ピピア

兵庫・シネ・ピピア

の賜物と深く感謝しております。厳しい情勢ではあります

す。厳しい情勢ではあります

が、シネ・ピピアともども、志を失わず運営に取り組んで

まいります。

**未曾有(みぞうゆう?)の
民衆の手で「変化」の
うねりをつに**

●協同センター・労働情報

未曽有(みぞうゆう?)の

大不況のなか、いまこそ映画や文化が求められています。

文化など必要ないと言い放つ

大阪の知事に対し、その重要性を積極的に発信し、人々に生きる活力となるのを感じていただけるよう活動してまいります。

また、シネ・ピピアは今年10月末で10周年を迎えます。これも皆様のご支援・ご協力によります。

昨年は、新自由主義路線の破綻が露呈され、時代の流れが転換したことを誰もが体感しました。まさに「激動」と「変化」の年でした。

また、私も協同センター! 労働情報も、石田精一共同代表の急死といふ「激動」のなか、いかにも「変化」のうなりを民衆の手により一つにします。

私は、この1年が変化を結実させる第一步の年となるよう努めてまいります。

厳しい時こそ、支え合う社会づくりへ踏み出すチャンスだ!

兵庫いきいきコープ

理事長 福井 浩

〒651-1411 西宮市山口町名来二丁目一
電話(078)903-6522 FAX(078)903-6533

【編集部より】他にも多くの皆さんから年賀状、新年のあいさつをいただきまきました。紙面を借りてお礼申し上げます。

西宮市山口町名来二丁目一
電話(078)903-6522 FAX(078)903-6533

【編集部より】他にも多くの皆さんから